

寄附者設定テーマ事業 事業報告シート

団体名	天神エリア賑わい創出委員会
テーマ名	子育てや社会教育の推進
事業名	こども食堂(欠食支援)事業
事業費(うち助成金額)	460,960 円(200, 000 円)
ネーミングライツ(該当があれば)	該当無し



■事業目的

コロナ禍における経済状況の悪化をうけ、学校給食のない休日において、子どもへ毎日食事を提供できない貧困家庭が増加しています。そんな状況下で子も親も安定した心を保つことは容易ではありません。また大学生においても、コロナ感染症によるオンライン講義の増加やアルバイト先の減少等によって、以前に増して社会との繋がりが気薄となっており、精神的にも経済的にも不安定な学生生活を送っているという事態があります。そういった状況を受け、定期的に食事を提供する場を設けることで、経済的支援だけでなく、直接地域の人と触れ合う中で得ることのできる安心感といった、心の支援も普及させていきたいと考えています。

■事業内容

松江市内の複数の既存店舗を利用して月4回程度(長期休暇中は10回程度)「まちのごはん」を開催しています。大学生以下は無料で利用できますが、大人も300円で同じ食事を食べることができる仕組みとしており、貧困家庭だけではなく、一人暮らしで普段孤食となっている人、人の作ってくれたご飯が食べなくなった人、または人との触れ合いを求め人。そんな人々の憩いの場となっています。メニューは日替わりで、店舗での食事はもちろん、テイクアウトもできる形をとっており、利用する方々が望む形で食事がとれるよう工夫しています。

人のつくってくれた温かな食事を人と一緒に食べることで、訪れたら誰でもほっとできる場となるように努力しながら活動をしています。

■事業成果と今後の展望

令和4年度は夏休み期間の8月から活動を開始し、月4回程度(長期休暇中は10回程度)まちのごはんを開催してきました。8月からの5か月間で累計約960人の方々に利用いただき、夏休み中の子どもたち、大学生はもちろん、親御さんや近隣住民の方々も利用してくださり、少しずつですが認知度が上がってきています。

また、料理補助や給仕などをサポートして下さるボランティアの方々、さらには食材を寄付して下さる方も増え、地域の方々に支えていただきながら日々活動を続けています。

令和5年度も、昨年度と同様に近隣店舗の方々と協力しながら、より自立した持続可能な活動となるよう、金銭面や開催場所についても試行錯誤を続けながら活動をしていきたいと思っています。

私たちが目指すのは、限られた人しか利用できない食堂ではなく、誰もが気軽に利用できる食堂です。人が作ってくれた美味しい食事を人と一緒に食べる。自然と笑顔があふれてくる、そんな温かな場所を提供し続けていきたいと思っています。目標は「いつもどこかでまちのごはん」です。